

株式市場急落後の反発に関する分析～シミュレーション研究との比較～

水田 孝信（スパークス・アセット・マネジメント株式会社）

株式市場において、大きなイベントが発生し市場全体が急落したとき、その後上昇するケースが多くある。多くの実証分析によりオーバーリアクション仮説が唱えられているものの、シミュレーションや理論モデルの研究はほとんどなく未解決問題である。本研究では、日本の株式市場においても大幅な急落時に反発が多いことを実証的に示し、先行研究であるシミュレーション研究の結果と統合的な理論モデルの構築を行った。その結果、急落時に多くのファンダメンタルな投資家が考えている適正株価よりもさらに下落し、その後適正だと考えている株価に戻っていくことが示され、必ずしもオーバーリアクション仮説が必要ではないことが分かった。これまでシミュレーション研究は実証分析で分かっていることを再現するにとどまるが多かったが、本研究ではシミュレーション結果を解釈しマイクロメカニズムを提唱するにいたった数少ない研究であると考えている。